

## 令和2年度における関係団体の取組状況

### 1 青森県小学校長会

活 動 内 容	
<p>青森県小学校長会として実施している事業はないが、各地区及び各小学校において次のような取組を行っている。</p>	
<p>県内10の地区において次のような取組を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校における「食育に関する全体計画」を作成し、実施・改善に努めている。</li> <li>2 各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び給食指導の時間等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。</li> <li>3 食育に関する専門的な知識をもつ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーとして授業を実施し、食の指導に生かしている。</li> <li>4 学校保健委員会において食に関する指導内容を扱い、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について話し合う機会を設けている。</li> </ol> <p>例年は食育イベントを開催し、栄養教諭や学校栄養職員が給食の紹介や食に関するクイズやゲームを実施している地区もあるが、今年度はコロナの影響があり、実施することが難しい。</p>	
<p>取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。</li> <li>2 P T Aが中心となり、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの研修会を実施している地区がある。(講話、給食試食会、調理実習等)</li> <li>3 参観日を活用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、食に関する講演を実施した地区がある。</li> <li>4 多くの学校で学校保健委員会や授業、クラブ活動等で学校栄養職員を効果的に活用している地区がある。</li> </ol>

### 2 青森県中学校長会

活 動 内 容	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「家庭科」「保健体育」の授業で、食と健康等食育に関する内容を展開し、学習のねらいを達成できるようにしている。</li> <li>2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校集会等を活用し、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。</li> <li>3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食の良さを再認識できるよう努めている。</li> <li>4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。 (学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食便り」「お知らせ」の活用など)</li> </ol>	

### 3 青森県高等学校長協会

#### 活 動 内 容

##### 1 高等学校の学習活動における食育の取組

###### (1) 各教科等における取組

共通教科「家庭基礎」、「家庭総合」 全ての高校において履修

- ・各ライフステージの栄養的な特徴の理解と調理実習による技術の習得
- ・自分自身の食事内容を振り返り、望ましい食生活を考えさせる学習
- ・市販の弁当等から食材の原産地やフードマイレージを考えさせる学習

専門教科「フードデザイン」、「食文化」 主として専門学科における履修

- ・食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習
- ・実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習
- ・食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解
- ・伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解
- ・行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得
- ・食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習

課題研究、「総合的な学習（探究）の時間」、「介護基礎と福祉」

- ・高齢者の栄養学を踏まえた調理法の実習
- ・味噌汁や発酵食品の効能
- ・病気と食、望ましい生活習慣と食、健康寿命を延ばすための食生活

保健体育（保健）（健康を支える環境づくり）

- ・食品と健康（食品の安全性の確保、食品衛生活動）
- ・健康に関する環境づくりと社会参加（ヘルスプロモーション、適切な健康情報の活用）

##### 2 青森県高等学校教育研究会・家庭部会における取組（研究発表等）

###### (1) 実践発表・フードデザイン：鱒ヶ沢高等学校

「家庭科と町の活動」～栄養教室～

- ・高校生の弁当作製（栄養指導、調理指導を町の栄養士と健康推進委員が担当）
- ・基本的な調理方法や材料の扱い方とともに、弁当作りに必要な基礎的な知識、技術を学ぶ
- ・事後指導では試食後に作り方、調味料を確認し、自宅で作ってみることを目指す

###### (2) 来年度に向けたアプローチ：「高校生の自炊塾」普及活動：青森高校

「自炊塾」を始めて見ませんか～食品ロスをなくすために～

- ・将来のために自炊を学ぶ必要生を感じたため、「青高自炊塾」を3年前から開始
- ・昨年からの自炊塾の活動が青森県の事業になり、「高校生の自炊塾」開始（3校で実施）
- ・県の事業が今後も継続できるように、来年度、他校にも「青高自炊塾」を紹介したい

## 4 青森県特別支援学校校長会

活 動 内 容	
<p>本校長会としての事業は実施していませんが、各校の学校運営において食育に関する指導を位置づけ、計画的、継続的に取組を進めております。以下、各校の幼児児童生徒の障害等の状況に応じた主な取組を集約し、報告いたします。</p>	
<p>取組や具体的手法や特徴的なこと</p>	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児児童生徒を対象とした栄養士や教員による授業</li> <li>・学校給食や手洗い、食事のマナーの学習</li> <li>・必要エネルギー量と実習期間の昼食</li> <li>・生活習慣病と食生活（病気の予防）</li> <li>・食中毒を含めた食に関する知識</li> <li>・地域の食文化や地域の産物の知識とそれらを生かしたメニュー考案や調理活動</li> <li>・栄養バランスの良い食事の摂取、6つの食品群についての学習、及び献立の作成</li> <li>・栄養素の取り過ぎや不足による障害例の学習</li> <li>・畑での野菜の栽培、収穫、調理</li> <li>・校内の「栄養黑板」を使った食材の学習</li> <li>・食物アレルギーの対応と相談</li> <li>・生徒会活動（給食委員会による毎月の給食目標の掲示）や給食委員会活動（給食のメニューや食材に関する一口メモの放送、旬の食材や食事のマナーに関するポスター作り、栄養黑板への掲示）</li> <li>・全校集会、学部集会等での食育指導に係る学習</li> <li>・視覚に訴える具体物を使った、壁面への掲示</li> <li>・手元で確認できる食育マナーに関するカードの貸し出し</li> <li>・摂食（食形態の調整等）に係る学習</li> <li>・栄養士や厨房の方への感謝のメッセージ（「厨房への感謝を伝える会」作文、絵、メッセージカードの作成など）</li> <li>・食品の選び方（賞味期限、消費期限、保存方法）</li> <li>・お弁当、朝食作り</li> <li>・郷土料理の歴史（せんべい汁）</li> <li>・外部講師、給食センター栄養教諭による食育指導（ふるさと特産品、マナー、箸の使い方等）に係る学習</li> </ul>
<p>研修会</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護者対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食試食会、学習会</li> <li>・参観日における講話</li> <li>・形態食の試食会</li> <li>・レシピの提供（印刷物の配布）</li> </ul> </li> <li>2 教職員対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食・嚥下指導</li> <li>・初任者校内研修における食育講話</li> <li>・医療的ケアを必要とする児童生徒を含めた摂食指導</li> <li>・嘔吐物処理に関する研修</li> <li>・食に関する学習会（寄宿舎）</li> </ul> </li> </ol>

<p>イベント的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産物を活用した給食</li> <li>・ 小学部「わくわく朝会」で栄養教諭によるランチクイズと解説</li> <li>・ 今月の注目食材として、実物の食材や果物(いろいろな品種のリンゴ)、魚の模型等を多くの幼児児童生徒が目に触れる場所に展示</li> <li>・ 卒業生リクエスト給食、ふるさと産品給食の日、全国・県内の郷土料理給食、・バイキング給食(給食感謝週間、年1回)、行事食(七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス、節分など)、リザーブ給食(主食・主菜・デザート選択)</li> <li>・ 無償提供食材の給食提供と情報発信</li> <li>・ 外国料理の実施</li> <li>・ 非常時給食の提供(救給カレーなど)</li> <li>・ 災害時食事訓練(家庭から持参した備蓄食料を実際に食べる)</li> <li>・ 献立コンクール</li> <li>・ せんべい焼き、りんごもぎ体験</li> <li>・ 八戸水産高校との交流(稚魚の放流等)</li> <li>・ テーブルマナー講習会</li> <li>・ 交流及び共同学習における収穫物の試食、給食への参加</li> <li>・ 地域の団体を講師としての郷土料理教室</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校菜園での野菜栽培と販売</li> <li>・ 給食だよりに食材に関する情報を掲載(行事食や旬の食材)、掲示</li> <li>・ 郷土料理の歴史や由来などの資料の掲示</li> <li>・ 学校HPへの掲載(献立表、食育だより、給食や食育の取組)</li> <li>・ 給食だよりに</li> <li>・ 給食における行事食や郷土食、県産品に関する一口メモの掲示</li> <li>・ アップルウェーブラジオ番組での給食献立の紹介</li> <li>・ 食育ポスターの掲示</li> <li>・ 食卓メモ(食材情報の掲示・クイズ)</li> <li>・ ごはんの盛付け分量の掲示</li> </ul>

## 5 青森県学校保健会

活 動 内 容	
1 健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施 2 「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催（書面開催） 期日：令和2年11月6日（金） 五所川原市立五所川原小学校 3 学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。
今後取り組みたい事項	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

## 6 青森県PTA連合会

事業名	食育活動助成事業
期 日	令和2年6月～令和3年3月
連 携 団 体	（公財）青森県学校給食会
活動内容・参加者等	PTAが行う食育活動に対して、（公財）青森県学校給食会から経費の助成を受け、親子料理教室やファミリー料理教室を実施している。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地産地消、減塩に取り組んでいること。

## 7 公益財団法人 青森県学校給食会

活 動 内 容	
1 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物36種類、教材セット）を指導教材として作成し、学校、食育関係団体等に貸出を行っている。	
事業名	貸与施設数
県産品フードモデルの貸出	10ヶ所
助成対象事業者 八戸市立学校東地区給食センター等	
事業名	貸与施設数
フードモデル（教材セット）の貸出	14ヶ所
助成対象事業者 青森市中学校給食センター等	
令和2年12月末時点	
2 青森県PTA連合会と連携して、県内の都市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。	
事業名	助成金額
PTA食育活動支援事業	21,495円
助成対象事業者 階上町立階上小学校PTA (参加人員 47名)	
令和2年12月末時点	
3 地場産物を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、今年度の事業を中止した。	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県PTA連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。

## 8 青森県学校給食センター連絡協議会

活 動 内 容	
学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育活動に取り組むこととしていたが、新型コロナウイルスの影響により、年3回の研修会を中止した。	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。

## 9 青森県養護教員会

活 動 内 容	
<p>1 会員各自が、勤務校において、家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校栄養職員や栄養教諭と連携し、発達段階に応じた学級・学年における「食」に関する指導の計画・実施。</li> <li>・学校保健委員会等で、「食」をテーマに取り上げ、健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施。</li> <li>・食物アレルギーについて、職員を対象とした研修の実施。</li> <li>・参観日やPTA委員会等での「食」に関する講話や給食試食会・調理実習等の実施。</li> </ul> <p>2 県または各都市において、会員の研修会や情報交換の場を設定し、児童生徒の健康課題改善のため、「食」に関する実践の紹介や研修を実施して資質の向上を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市養護教員部会               <ul style="list-style-type: none"> <li>11月下旬 資料研修                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食障害に関する学校と医療のよりよい連携のための対応指針</li> <li>・摂食障害の子どもと家族のケア～保健室でできる早期介入～</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・上北地方養護教員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>9月29日(火)</li> <li>講演「生活習慣の基礎は？」</li> <li>講師 公立七戸病院 院長 小野正人氏</li> <li>紙上発表 「楽しく・続く・手軽3つのキーワードから考えた肥満指導」</li> </ul> </li> <li>・下北養護教員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>9月24日(木)～9月30日(水) 紙上研究発表並びに研修会</li> <li>「つなげる・広げる・超える健康教育をめざして」</li> <li>～「健康の未来」を変えるプロジェクト、コロナ感染症予防の取組みを通して～</li> </ul> </li> <li>・三戸郡学校保健会養護教諭部会               <ul style="list-style-type: none"> <li>10月21日(水) 資料発表(青森県養護教員研究大会と兼ねる)</li> <li>「望ましい生活習慣を行動かできる子どもの育成～主として教材や掲示資料を通して～」</li> </ul> </li> </ul> <p>3 本会HP「あおりんご」にあおもり食命人自立活動支援事業(青森県農林水産部)のページをリンクし情報を共有している。</p>	
<p>取組の具体的な手法や特徴的なこと</p>	<p>学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。そのため、養護教諭が自校の実態から、多岐にわたる健康課題を「食」と関連づけながら関係職員・関係機関と連携し、実態改善に向けた取り組みを行うことができる。</p> <p>ただ、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年より各校での活動は縮小あるいは削減されたと思われる。</p>

## 1 0 青森県学校栄養士協議会

活 動 内 容	
<p>1 毎年6月、11月に「ふるさと産品給食の日」を設定し、県産品や地域の産品を多く取り入れた給食を実施。</p> <p>2 県スポーツ健康課のあおもり型給食促進事業を受けて、5つのコンセプトである、「塩分ひかえめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・青森に感謝」に沿った献立を作成し、家庭に向けてレシピ等を情報発信。</p> <p>3 体格から個人別に推定エネルギー必要量を算出する「栄養管理システム」を活用して、給食管理を行い、肥満改善に向けて取り組んだ。</p> <p>4 食に関する指導として、関係職員と連携し、給食時間及び学級活動・教科の時間にバランスのとれた食事のとり方、健康的な生活の過ごし方などの指導を行った。また、学校保健委員会では助言を行った。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>1 「ふるさと産品給食の日」には、給食だよりや校内放送等で県産品や地域の産品を紹介し、児童生徒、保護者に対して地産地消の啓発を図った。</p> <p>2 あおもり型給食について、県販売戦略課で開発した「できるだし」を使った減塩料理や野菜をたっぷり使ったおいしい料理などのレシピを給食だよりに掲載し、家庭での普及促進に努めた。</p> <p>3 食に関する指導では、生活習慣病予防のための教科と関連づけた指導（家庭科での減塩みそ汁、保健体育での生活習慣病予防など）を実施。</p>
今後重点的に取り組みたい事項	<p>1 児童生徒の肥満改善に向け、効果を上げる方策について地区ごとにテーマを設けて研究していきたい。</p> <p>2 食に関する指導については、県内各地で実践できるように、関係職員と連携して取り組んでいきたい。</p>



## 1 1 特定非営利活動法人 青森県消費者協会

事業名	食の安全・安心推進事業（1回）
期 日	令和2年4月～令和3年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会を開催</p> <p>8月26日（水）令和2年度 消費生活大学講座 第4回 「『食べもの情報』ウソ・ホント ～『健康的な食生活』とは？～」</p> <p>講師：群馬大学名誉教授 高橋久仁子氏 会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール 参加者：147名（一般・高齢者）</p>
事業名	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（4回）
期 日	令和2年4月～令和3年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するための講演会及び料理講習会の開催</p> <p>7月22日（水） 令和2年度 消費生活大学講座 第3回 「『農』の強みと『食』の課題 ～青森の農と食を楽しむために～」</p> <p>講師：青森中央学院大学 経営法学部 講師 庄司元氏 発表者：中央学院大学 経営法学部学生 木村氏 会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール 参加者：136名（一般・高齢者）</p> <p>12月6日（日） 親子で学ぼう！消費生活 「親子で作る！クリスマス料理&amp;知っておきたいお金のこと）」</p> <p>講師：青森県金融広報委員会 丸山厚子氏 前青森県学校栄養士協議会 会長 相馬英子氏 会場：県民プラザ 5F 調理実習室 参加者：親子8組（保護者8名、児童10名） ・一般社団法人青森県養豚協会協力</p> <p>12月13日（日） 親子で学ぼう！消費生活 「親子で作る！クリスマス料理&amp;知っておきたいお金のこと）」</p> <p>講師：青森県金融広報委員会 丸山厚子氏 前青森県学校栄養士協議会 会長 相馬英子氏 会場：県民プラザ 5F 調理実習室 参加者：親子4組（保護者4名、児童6名） ・一般社団法人青森県養豚協会協力</p> <p>2月6日（土）予定 親子で学ぼう！消費生活 「青森ほたて親子料理教室」</p> <p>講師：栄養士 水嶋優子氏・須藤裕子氏 青森県ほたて流通振興協会「青森ホタテキャラバン隊」 会場：アピオあおもり 1F 調理実習室、工作室</p>

事業名	食品ロス削減推進事業（1回）
期日	令和2年4月～令和3年3月
場所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食品ロス削減を目的とした講演会の開催</p> <p>5月27日（水）</p> <p>令和2年度 消費生活大学講座 第1回</p> <p>「私たちの暮らしとSDGs～持続可能な社会のために～」</p> <p>講師：消費者庁 消費者教育推進課 課長補佐 中川壮一氏</p> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座を行わず資料を受講生に配布。</p> <p>資料配布者；213名（一般・高齢者、消費生活大学講座受講申込者）</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活大学講座では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料配布のみや、テレビ会議システムを利用して遠隔地の講師はオンラインでの講演、また講演を午前午後の2部制にして対応した。</li> <li>・「親子で学ぼう！消費生活」では、青森県養豚協会からは食材の提供、青森県ほたて流通振興協会からは食材の提供・料理講習等、協力いただいた。</li> </ul>

## 1 2 青森県食生活改善推進員連絡協議会

事業名	おやこの食育教室
期 日	令和2年8月～
場 所	県内12ヶ所
活動内容・ 参加者等	新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、事業を進める。 訪問活動を中心とする。おやつ(お菓子)などを添えて教材を配布する。 年長児から小学生とその保護者。
事業名	男性料理教室
期 日	令和2年10月～
場 所	県内4ヶ所
活動内容・ 参加者等	“密”をさけて、集める活動から、訪問活動を中心にする。 ヘルシーメニューやお惣菜などを添えて、教材を配布する。 成人男性。
事業名	生涯骨太クッキング(生活習慣病とロコモ予防)
期 日	令和2年9月～
場 所	県内8ヶ所
活動内容・ 参加者等	新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、訪問活動を中心とする。 おかし(おやつ)やお惣菜などを添えて、教材を配布する。 地域住民、成人から高齢者。
事業名	やさしい在宅介護食教室
期 日	令和2年9月～
場 所	県内4ヶ所
活動内容・ 参加者等	小人数での勉強会。 地域住民、食生活改善推進員
事業名	生活習慣病予防のためのスキルアップ事業
期 日	令和2年11月～
場 所	若者世代8ヶ所、働き世代7ヶ所、高齢世代(シニアカフェ)15ヶ所
活動内容・ 参加者等	・若者世代～お菓子(おやつ)などを添えて教材を配布する。 ・働き世代～ヘルシーメニューやお惣菜などを添えて教材を配布する。 ・シニアカフェ～お弁当などを添えて教材を配布する。
事業名	乳幼児健診等における“だし活”伝道事業
期 日	令和2年6月～
場 所	全県実施 40市町村×3～4回 140回実施
活動内容・ 参加者等	試食提供は中止。できるだしサンプル1家族1つ配布。 各市町村の方針に基づき、感染防止対策を徹底して進める。
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	・“密”をさけるため、“集める活動ではなく、訪問活動”を中心とした活動。 ・検温、手洗い消毒の徹底、マスク着用、会員自身の健康管理の徹底。 ・国や各市町村の方針に基づき、感染防止対策を徹底した上で、活動を進める。

### 1 3 青森県生活協同組合連合会

事業名	DVD「青森 de 食育」を作成し食生活の自己チェック活動を支援
期 日	2020年11月完成
場 所	会員生協の組合員集会等で活用
活動内容・参加者等	コロナ禍で集合型の研修会が開けないため、東北女子大と一緒に「青森 de 食育」のDVDを作成して活用をすすめた。「食と健康」について学習し、食生活自己チェック表活用の教材として会員生協での活用がすすめられている。
事業名	健やかショッピングサポート
期 日	2020年11月～1年間
場 所	弘前市（コープあおもり和徳店・松原店・西広店） 青森市（県民生協コスモス館・アカシア館・新城店）
活動内容等・参加者等	弘前大COIと共同し、毎日の買い物行動の分析と定期的な健康チェックを行うことにより健康な食生活に向けたアドバイスを行うことにより、食生活と生活習慣の改善に結びつけていく取り組みをスタートした。 モニターは100名～200名の登録を予定し、1年間追跡調査を実施する。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	・生協組合員の店舗や共同購入での購買データとスマホで手入力されたお買物情報から栄養状態を予測し、不足する栄養素やそれを補う食材とメニューの提供など、食生活へのアドバイスをを行うシルタス社のシステムを活用し、弘大COIと生協の共同研究として実施する。 ・同時に、年に数回健康度測定をすることにより、「測る・知る・変える」の行動変容に結びつける。
事業名	あおもりまると健康チャレンジ
期 日	2021年7月～12月
場 所	県内全域 40市町村が後援
活動内容・参加者等	健康づくりのための取組目標を決めていただき、12月までの期間に30日以上取り組んだ方に粗品を進呈することにより生活習慣の改善を推奨する取り組み。 今年度4,638名が申し込み、3,311名が結果報告。
事業名	食品の安全・安心に関する意識調査（青森県）の取り組み
期 日	11月6日（学習会）・意識調査の実施（11月～1月）
場 所	コープあおもり本部会議室
活動内容・参加者等	県食の安全・安心課より講師1名 県生協連食品の安全推進委員会 6名
取組の具体的な手法や特徴的なこと	2018年度より県からの依頼により、食品の安全安心に関する意識調査に協力しているが、毎年同じ内容で進展状況がみえない、質問の正解がわからないなどの意見が上がっていた。 推進委員会に県の担当者に参加いただき、調査の意義、調査内容の説明、県民意識の変化等について報告いただいたことから、内容の理解が進み、自信をもって調査に取り組むことができた。現在アンケート415部の集約となっている。 また、県との信頼関係も深められ、今後の連携づくりにつながるものとなった。

## 1 4 青森県生活研究グループ連絡協議会

事業名	東北栄養専門学校生のための郷土料理伝承会（黒石地区連）
期 日	令和3年2月12日（金）予定
場 所	弘前市 東北栄養専門学校 調理室
活動内容・参加者等	内 容：郷土料理（5品）の調理実習、意見交換 参加者：東北栄養専門学校1年生24名、教職員2名、会員8名、中南地域県民局地域農林水産部2名 計36名 平成20年から実施し、今年度で13回目となる。今年度は、中南地域食育実践向上事業を活用し、これまで実施してきた料理を取りまとめた「郷土料理レシピ」を作成し、その中からメニューを選定して行う。
事業名	手作りの味と技を楽しむ会（鱒ヶ沢地区連）
期 日	令和2年9月14日（月）
場 所	鱒ヶ沢町総合保健福祉センター
活動内容・参加者等	内 容：「かぼちゃ入りまんじゅう」、「にんじんジュースを使った2層のパバロアゼリー」の実習、「きゅうりのからし漬け」と「赤じそドリンク」のレシピ紹介、意見交換 講 師：鱒ヶ沢地区連会員 参加者：一般消費者9名、会員8名、西北地域県民局地域農林水産部1名 計18名
取組の具体的な手法や特徴的なこと	・各地区連とも主に会員が講師となり、調理実習を通して郷土料理の伝承や地産地消を推進している。 ・鱒ヶ沢地区連は新型コロナウイルス対策として、会員、消費者ともに例年の半分の人数で、換気や衛生管理に留意し実施した。

## 1 5 一般社団法人 青森県調理師会

事業名	親子料理教室
期 日	
場 所	
活動内容・参加者等	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は開催を中止しました。

## 1 6 青森県旅館ホテル生活衛生同業組合

事業名	夏期衛生講習会
期 日	令和2年8月19日 14:00～15:30
場 所	ホテルクラウンパレス青森 2階「光峰の間」
活動内容・参加者等	テーマ「食品衛生管理」について H A C C Pを取り入れた衛生管理 講師 青森県健康福祉部保健衛生課 主幹 西村 秀太郎 氏 参加者 30社・団体 48名
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森市旅館ホテル協同組合 青森県調理師会 との共催として実施。 例年、青森市保健所から講師を招聘していたが、今回は県保健衛生課 西村主幹を講師に招いたところ、これまでにない充実した内容となり大好評のうちに終了した。

## 1 7 全国農業協同組合連合会青森県本部

事業名	令和2年度やさい作品コンクール
期 日	募集期間：7月10日(金)～10月5日(月) 審査会：11月24日(火) 入賞展示：12月12日(土)～12月13日(日) 表彰式は行なわず、各小学校から入賞者へ授与いただく。
場 所	募集期間：青森県農協会館 審査会：青森県農協会館 入賞展示：サンロード青森 2階 催事ホール
活動内容 参加者等	子供の頃から県産やさいに関する知識を深め、郷土で生産されたやさいに愛着を持ってもらうことを目的として、県内の小学生を対象に開催した。 応募点数：図画677点・習字(半紙)4,887点 習字(条幅)198点 合計5,762点 入賞点数：図画39点・習字(半紙)39点・習字(条幅)39点 合計117点
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	青森市教育委員会の図画工作科部会・国語部会から推薦いただいた審査員に、審査を委嘱している。 特に習字の上位入賞者の中には、何年も続けて本コンクールに出展する傾向も見られており、審査員の方々から年々上達しているとの講評をいただいている。

## 1 8 青森県青果卸売市場協会

事業名	
期 日	
場 所	
活動内容・ 参加者等	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動できませんでした。

## 19 一般社団法人 青森県りんご対策協議会

事業名	若年層を対象とした青森りんご消費宣伝対策事業
期 日	通年
場 所	青森県内、全国各地
活動内容・参加者等	<p>青森県りんご果樹課等との連携や、本会の構成団体である「全国9地区青森りんごの会」とのネットワークを活かし、県内外で青森りんごの食育活動を展開。</p> <p>&lt;県内&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食用として使用するりんごの購入費の一部を助成。</li> <li>2 青森県りんご果樹課が実施する小学校での「青森りんご出前授業」で使用するりんご、学童用資材の提供。</li> </ol> <p>&lt;県外&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幼稚園、小学校等を対象とした「青森りんご食育授業」の実施。</li> <li>2 青森県主催の「青森県知事直伝!親子で学ぶアップルスクール」への協力。</li> <li>3 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等を対象とした、学習用や給食用のりんご提供。</li> <li>4 学童用資材の作製 りんごの品種やりんご作りの作業過程を紹介した下敷き、学習帳を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布。</li> <li>5 栄養系大学へのりんご提供 管理栄養士、栄養教諭の養成課程がある全国50以上の大学を対象に、授業教材としてりんごと青森りんごの学習冊子を配布。</li> </ol> <p>今年度はコロナの影響により出前授業等の実施ができないことから、食育用の動画を新たに制作し、YouTube等で公開している。</p> <p>「ミスりんごがナビゲート 青森りんご食育動画」  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=_sf1xrSXqeo">https://www.youtube.com/watch?v=_sf1xrSXqeo</a></p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>りんごの食べ方提案として、「スターカット」のPRをしており、特に若年層への浸透に力を入れている。</p> <p>&lt;「スターカット」とは・・・&gt;</p> <p>りんごを横にして皮つきのまま輪切りするカット方法。皮ごと食べることでりんごの栄養を無駄なく摂取でき、可食部が増えることで生ごみが少なくなりエコ。厚さを調整することで幼児や年配者にも食べやすく、スナック感覚で食べられるため、健康的なおやつとしてもおすすめ。</p> <p>&lt;青森りんごで栄養丸ごとスターカットPRサイト&gt;  <a href="https://www.aomori-ringo.or.jp/starcut/">https://www.aomori-ringo.or.jp/starcut/</a></p>

## 20 公益社団法人 青森県りんご協会

事業名	りんご食育授業（リモート）
期 日	令和3年1月15日
場 所	りんご協会 東京都品川区立戸越小5年生
活動内容・参加者等	リモートによる食育授業 東京都の緊急事態宣言に伴い中止。
事業名	りんご食育出前授業（本会青年部）
期 日	令和3年2月9日
場 所	八戸市立多賀台小5年生
活動内容・参加者等	栽培DVDやパワーポイントを活用した食育授業と試食 新型コロナウイルスの影響により中止。

## 21 青森県漁業協同組合連合会

活 動 内 容	
	<p>1 青森県産水産物の品質、衛生管理面の向上に努めることで、消費者との信頼関係の構築に努めました。</p> <p>2 青森県ほたて流通振興協会に共催し、県内小学校（1校）で出前講座を実施、県産ほたての長期的な食育推進を図りました。</p> <p>3 SNSを活用した積極的な情報発信や、JF全漁連が運営する産直通販サイト「JFおさかなマルシェギョギョいち」にて、本県自慢の水産物を各種出品することで、県内水産物の知名度向上と消費拡大に努めました。</p> <p>4 本県水産物の流通拠点となる施設「流通PRセンター」において即売会を開催し、魚食普及と消費拡大に取り組みました。</p> <p>5 漁業者自ら漁獲した水産物をスーパー等の量販店において販売する、「あおもりの肴フェア」に参画し、本県水産物の知名度向上や魚食推進に取り組みました。</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「流通PRセンター」オープン1周年記念イベント（2020年12月12日開催） 県内各浜で水揚げされた旬な魚介類を同施設に集約した即売会（約500名来場）。</li> <li>・コロナ禍において流通体系や消費志向が変化し、「新たな生活様式」に密着した販売形態、魚食推進といった、魚食文化をつなぐ新たなニーズへ対応する土台作りを行った。</li> </ul>



## 2 2 八戸水産加工業協同組合連合会

事業名	第7回ご当地イカ料理コンテスト
期 日	令和2年8月10日(月)
場 所	八戸ポータルミュージアムはっち
活動内容 参加者等	新型コロナ感染予防のため中止
事業名	第14回八戸前沖さばアイデア料理コンテスト
期 日	令和2年11月1日
場 所	八食センター(審査・表彰式)
活動内容 参加者等	「気軽に家庭で作れる料理」をテーマにして開催。 「食育」をテーマにした手軽に作れるさば缶のデザート「野菜と黒ゴマのサバンナコッタ」が グランプリ受賞。
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	新型コロナウイルスの感染拡大でほとんどのイベントが中止される中、自宅にいる時間が 増えて心と身体に悪影響を及ぼしかねなくなっている。しかし、今回の料理コンテストでは、 家庭内で簡単に作れるアイデア料理が多く出品された点に大きな意義があった。

## 2 3 公益社団法人 青森県物産振興協会

事業名	「青森の食の魅力」を発信する青森県物産展等の開催
期 日	令和2年4月～令和3年3月
場 所	県内外の百貨店、量販店、当協会直営催事スペース(新青森駅内)
活動内容・ 参加者等	本県が誇る安全・安心な農林水産物及びその加工品を県内外の消費者に広く紹介するた めに、物産催事を開催し、「青森の食の魅力」を発信した。

## 2 4 株式会社さくら野百貨店

事業名	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べ比べ教室」
期 日	
場 所	
活動内容・ 参加者等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止とした。

## 2 5 株式会社ユニバース

活 動 内 容	
事業名	「クッキングサポート」でのメニュー提案
期 日	毎日（メニューは、1週間を月曜日～木曜日の4日間、金曜日～日曜日の3日間に分けて週2品提案）
場 所	ユニバース十和田東店内、ユニバース東青森店内
活動内容・参加者等	「健康・減塩・低カロリー」をテーマに、食品メーカー様と連携してメニュー提案。
事業名	「エコごぼう」の販売
期 日	令和3年1月18日開始（なくなり次第終了）
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・参加者等	食品残渣を堆肥に製造（佐々木総業様の南郷工場）し、ご協力いただいている農家様に使用していただき、生産した「エコごぼう」を販売。
事業名	「きのこ展示会」の開催
期 日	令和2年10月10日開催
場 所	八戸ニュータウンショッピングセンター内ローズガーデン「ロゼリア」
活動内容・参加者等	八戸きのこ友の会様にご協力いただき、青森県内や岩手県北で当日に採取したきのこや、松茸・トリュフなど約100種類の野生きのこの展示を実施、また来場者が持参したきのこの無料鑑定等を実施。
事業名	「ちびっこが作る カレーの日」開催
期 日	令和2年8月7日開催
場 所	矢巾 こずかたこども園（矢巾店となり）、ユニバース矢巾店 岩手県
活動内容・参加者等	園児による店舗でのお買物体験をし、園に戻り、みんなで手作りカレーを料理、出来上がりを試食。
事業名	「県産フェア」開催
期 日	6/3～6/5、9/9～9/11、10/21～10/23、'21/2/24～2/26 は計画
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店 毛馬内店は「北東北のうまいもの」
活動内容・参加者等	チラシ広告で県産品フェアを開催 地場の美味しい食材、特産品をPRし、地産地消を啓蒙
事業名	「しっかり朝食」の呼びかけ
期 日	4/8～4/10、5/13～15、1/13～15
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・参加者等	チラシ広告で朝食商材を訴求することで、毎日しっかり朝食をとることを呼びかける
事業名	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに野菜摂取促進の啓蒙
期 日	6/24～6/26、7/22～7/24、8/26～8/28、11/25～11/27、12/9～12/11
場 所	店内POP・DVD、折込チラシ 期日記載は折込チラシ実施期間
活動内容・参加者等	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに店内POPや折込チラシに掲載することで野菜摂取促進の啓蒙活動を実施。

## 2 6 株式会社マエダ

事業名	むつ市のうまいは日本一
期 日	令和2年8月、11月
場 所	本店、ガーラモール店
活動内容・参加者等	むつ市、下北の特産品の試食販売
事業名	「青森県産品まつり」の企画
期 日	毎月1回 第2週もしくは第3週の週末
場 所	マエダストア全店
活動内容・参加者等	・チラシで県産品の特集を組んで販売 ・普段売り場に出てない商品を見つけてお客様に紹介。
事業名	地場商品コーナーの展開
期 日	通年
場 所	マエダストア各店舗
活動内容・参加者等	・「地産地消」を目的に地場野菜を中心に販売。 ・全店に販売コーナーを常設。野菜や加工品などを青森県の農家さんから仕入販売。

## 2 7 公益社団法人 青森県看護協会

事業名	看護の日・看護週間事業
期 日	
場 所	
活動内容・参加者等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止とした。
事業名	「まちの保健室」定期的健康相談事業
期 日	
場 所	
活動内容・参加者等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止とした。

## 2 8 公益社団法人 青森県栄養士会

事業名	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション 1
期 日	令和2年度
場 所	栄養士会事務所
活動内容・ 参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施 電話 毎週火曜日10時～12時 H P 随時
備 考	令和3年度も実施予定
事業名	「サンロード青森健康促進デー」あおもり栄養ケア・ステーション 2
期 日	令和2年9月26日(土)～27日(日)
場 所	サンロード青森
活動内容・ 参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩ティッシュ、ヘルシーダイアリーの配布、 栄養相談 26日(26名) 27日(38名)
事業名	減塩プロジェクト事業 1 ( 八戸市健康パネル展 )
期 日	令和2年10月17日(土)～18日(日)
場 所	八戸市ポータブルミュージアムはっち
活動内容・ 参加者等	減塩タペストリー、減塩パンフレット、減塩味噌汁の作り方、減塩レシピ 新型コロナウイルス感染予防の栄養のリーフレットの展示をした。
事業名	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション 3
期 日	令和 2 年度
場 所	マエダアリーナ( 青森市 )
活動内容・ 参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 種目は自転車、バドミントン、ボート、スキー、スピードスケート等、計24回
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	青森県スポーツ科学センターとの委託事業
事業名	「健やか隊員育成プログラム研修会」 あおもり栄養ケア・ステーション 4
期 日	令和2年 8月5日、8月27日、9月25日、10月14日、10月23日
場 所	むつ市、八戸市、弘前市、青森市
活動内容・ 参加者等	500キロカロリー、塩分2.5gのお弁当を試食しながら、50分ほどの健康的な食生活のお話
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	青森県医師会 健やか力推進センターより講師依頼。 研修内容は体力測定、健康のお話、栄養、運動等を研修し、すこやか隊員を育成 8月5日は、リモートでの実施

## 2 9 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

事業名	「地域とつながる子どもの居場所」情報交換会
期 日	令和2年7月16日
場 所	アウガAV多機能ホール
活動内容・参加者等	子どもの居場所の取組発表と情報交換会を開催。 食を通じた居場所づくりやコロナ禍の取組について情報交換。参加者99人。

## 3 0 一般社団法人 青森県保育連合会

事業名	令和2年度 給食・食育研修会
期 日	令和2年9月30日
場 所	ホテル青森
活動内容・参加者等	会員施設 給食関係者及び保育関係者 165名 1 「災害時の食事提供の体制づくり」 講師：危機管理教育研究所 代表 危機管理アドバイザー 国崎 信江 氏  2 「災害時の食事提供までに施設全体でどう動くかを考える」 講師：青森県立保健大学 教授/管理栄養士 齋藤 長徳 氏
備 考	子どもの「食」の視点から豊かな人間性を育み、子どもに与える栄養の意義や発育期の栄養の特性を総合的に理解することを目的に開催

## 3 1 国立大学法人弘前大学 農学生命科学部

事業名	公開講座「リンゴを科学する」
期 日	令和2年12月6日(日)
場 所	青森市中世の館 大ホール (青森市浪岡大字浪岡字岡田43)
活動内容・参加者等	りんご園の生態系 農薬を減らしてリンゴをつくる - 藤崎農場での特別栽培試験 着果・着色管理における植調剤の効果的な利用方法 リンゴのウイルス・ウイロイド及びウイルス様病害
取組の具体的な手法や特徴的なこと	公開講座「リンゴを科学する」は青森学術文化振興財団からの助成を受けて実施した。
備 考	来年度も実施予定。

## 3 2 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

### 1 公開講座における食育活動の実践

事業名	フレイル予防でイキイキ元気
期 日	令和2年7月21日 令和2年8月27日 令和2年9月4日
場 所	AOMORI STARTUP CENTER 青森中央短期大学
活動内容・参加者等	一般の方を対象にフレイルについての基本的な知識や予防方法を理解する講義や実践しやすい調理実習を行った。
事業名	ホタテ博士になろう～ホタテ丸ごと探検～
期 日	令和3年1月9日
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	児童とその保護者を対象に、ホタテについて学習した後にホタテ料理を調理した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	専門知識をわかりやすく伝えながら、参加者が興味をもって取り組める講座を毎年企画している。来年度以降も本学の特性を活かした講座を企画し実施していきたい。

### 2 教員が依頼された出前講座など研修会での食育の普及活動を実施

事業名	保護者・親子を対象とした調理実習 2020年ファミリー講座 認定こども園青森中央短期大学附属第二幼稚園親子クッキング
期 日	令和2年11月14日 令和3年1月23日
場 所	青森中央短期大学 青森中央短期大学附属第二幼稚園
活動内容・参加者等	保護者や親子が楽しみながら作業することで食への興味につながる内容とした。また親子クッキングは火を使わずできる内容とした。
事業名	青森中央短期大学 食育講座・出前講座 幼児・児童・生徒・一般・親子を対象とした講義や調理実習
期 日	令和2年5月～令和3年3月
場 所	各保育施設、高校、地域施設及び青森中央短期大学（オンライン）
活動内容・参加者等	令和2年度は食育講座4件、食に関する出前講座6件を実施。 食育講座は保育施設と養護学校からの依頼があり、保育施設では食事マナー、学校では栄養バランスの講義を行った。 出前講座は高校と一般からの依頼が多く、青森県の食の魅力と食育や健康な食生活について講義を行った。親子を対象にした講座は県産ホタテを使った調理実習を行った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	食育講座では依頼先のニーズに応じた内容を実施している。 出前講座は学科の専門性を活かしたテーマを設定し、参加者が興味を持ちながら「食」について学ぶことができる内容としている。

### 3 人材育成のための研修会、セミナーの実施

事業名	食育実践者による「食育実践報告会」
期 日	令和3年2月13日
場 所	青森中央短期大学及びオンライン
活動内容・	一般や専門職の方などを対象に地域で活動している食育実践者からその取り組みに

参加者等	関する報告会を実施。 (本研修は対面とオンラインのハイブリット形式で実施)
取組の具体的な手法や特徴的なこと	本学では全ての世代への食育活動展開事業、地域の食育活動実践者の育成・支援事業を通して、青森県民の健康行動の変容を習慣づける食育活動を推進していくことを目指している。

#### 4 学生が中心となって実施している食育活動・その他

事業名	産学官共同による『中短生発 県民にパワーを！青森を元気にする弁当』考案
期 日	令和2年5月～9月上旬
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、本学学生が青森県産品を使用し県民や青森県を元気にする弁当を考案し、その販売を企業が行った。
事業名	特別老人ホームにおける手作りおやつ提供
期 日	令和2年9月11日、9月15日
場 所	社会福祉法人中央福祉会特別養護老人ホーム三思園
活動内容・参加者等	噛む力や飲み込む力が弱くなった方でも「口から食べる喜び」を感じられるように、高齢者が食べやすいおやつを考案・調理し、入所者の方に提供を行った。
事業名	園児と楽しむ大豆の栽培・栽培、収穫、味噌作り
期 日	令和2年5月～令和3年2月
場 所	青森中央短期大学及び附属幼稚園、系列保育園
活動内容・参加者等	園児が大豆の栽培活動を行い、枝豆の収穫、大豆の収穫及び脱穀を体験し、収穫できた大豆を使って味噌づくりを行った。 また、一連の活動に合わせて大豆の育ちに関する紙芝居や食育ソングを制作し、園児を対象に食育講座も実施した。

### 3 3 青森県土地改良事業団体連合会 (あおもり水土里ネット女性の会)

事業名	地域での食育の推進事業における「農業体験会」(たまねぎの収穫)
期 日	令和2年7月27日
場 所	青森市 奥内地区ほ場
活動内容・参加者等	新型コロナウイルス感染症が青森県内に拡大したため、農業体験会を中止にした。
事業名	地域での食育の推進事業における「農業体験会」(たまねぎの定植)
期 日	令和2年10月15日
場 所	青森市 奥内地区ほ場
活動内容・参加者等	農業体験を通して、自然の恵みや食の大切さを感じ、また、農業体験を通して、地域の農産物に対する愛着を深め、幅広い世代を対象に開催した。 ・参加者13名
取組の具体的な手法や特徴的なこと	・たまねぎ生産者組合との連携

### 3 4 あおもり食育検定委員会（事務局：青森中央短期大学）

事業名	2020年度あおもり食育検定
期 日	2020年11月15日（日）
場 所	<p>【主会場】 青森中央短期大学（青森市）、ホテルニューキャッスル（弘前市）、八戸学院大学（八戸市）、むつ下北観光物産館（むつ市）</p> <p>【団体会場】 青森県立青森南高等学校（青森市）、青森県立弘前実業高等学校（弘前市）、東北女子短期大学（弘前市）、株式会社佐藤長（弘前市）、青森県立八戸西高等学校（八戸市）、青森県立中里高等学校（中泊町）</p>
活動内容・参加者等	<p>内容：県内4会場（主会場）及び6団体会場（準会場）であおもり食育検定を実施。</p> <p>参加者：276名が受検し、227名が合格した。</p>
事業名	あおもり食育検定 公開講座「あおもりの食を未来につなぐ」
期 日	2020年9月12日（土）
場 所	青森中央短期大学、オンライン（Zoom）
活動内容・参加者等	<p>内容：「あおもりの食を未来につなぐ」と題して、公開講座を開催。</p> <p>講座前半は料理家・栗原心平氏をお招きして青森の食の魅力を語っていただき、後半では県内で食育活動を実践されている方々をお招きし、活動内容等をお話いただいた。</p> <p>参加者：会場70名、オンライン60名、合計130名程が参加した。</p>
事業名	あおもり食育検定出前講座
期 日	2020年10月7日、10月11日、11月9日、11月10日
場 所	青森県立青森南高等学校、紅屋商事株式会社、青森県立弘前実業高等学校、青森県立八戸西高等学校
活動内容・参加者等	<p>内容：申込があった団体に対して、「あおもり食育検定公式テキスト2020」の内容についてより理解を深めていただくための解説講座を実施。</p> <p>参加者：青森県立青森南高等学校27名、紅屋商事株式会社10名、青森県立弘前実業高等学校45名、青森県立八戸西高等学校15名、合計97名</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	受検希望者には、検定テキストを無料で配布している。更に、検定合格者は「あおもり食育サポーター」への登録資格が取得できる。